

令和5年度第1回米沢市地域公共交通活性化協議会 会議録（要点筆記）

1 日 時 令和5年6月26日（月）15：00～16：30

2 場 所 米沢市役所 庁議室

3 出席者（詳細別紙）

（委員）安孫子幸一委員（代理出席 安達元輝主事）、安部 徹委員、阿部好弘委員（代理出席 安部昌記教諭）、有路仙之委員（代理出席 角張英恵主席運輸企画専門官）、今村元一委員、植野みどり委員、大河原真樹委員、金子明夫委員、黒須敬子委員、小山雄司委員（代理出席 鷲尾仁主課長補佐）、鈴木新一委員、鈴木正幸委員、桃井義典委員（代理出席 阿部貴宏交通課長）、山田記子委員、我妻康次委員、渡辺博幸委員

※欠席者：長内 真委員、河田亜依委員、佐藤文俊委員、高澤由美委員、濱田好花委員

（事務局）遠藤企画調整部長、鈴木地域振興課長、菅原地域振興課長補佐、菊地地域振興主査、渡部主任

4 会議録

(1) 開会 司会：菅原補佐

(2) あいさつ 副市長

豊島区で KDDI と WILLER の合同企業体が新しいのりあいタクシー「mobi」の実証運行をはじめている。他にも全国の11エリアで実証運行をはじめており、昨今次々と新しい交通モードが誕生している中で、「mobi」は多くの人の要求ではなく、個人の要求に応えることを目指しているようだ。

今日の協議会でも公共交通に関して提案があると思うが、委員のみなさんから忌憚ない意見を頂戴し、米沢の公共交通もより良いものとなっていった欲しいと願っている。

(3) 委員紹介

(4) 議事

規定に則り、大河原会長が議長になり、議事に入る。

①監事の選任について

立候補が無かったため、事務局から金子委員と渡辺委員を提案する。

委員からの異議はなし、金子委員と渡辺委員を監事に選任する。

②令和4年度事業報告並びに収支決算について

事務局が資料2、3により説明

委員からの意見質問なし。

③令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

事務局が資料4、5により説明

角張委員：ICカード普及促進事業特別会計はR5年度引き続かないのか。

事務局：令和5年度には特別会計は引き続かず、残部の売り上げを雑入として歳入へ入れる。

委員：昨年度学生向けに公共交通利用を促す取組があつて大変良かった。公共交通の基盤固めプロジェクトの中に学生に向けたものがないが良いのか。

事務局：学生に向けた取組として、市街地の魅力向上プロジェクトの中で市街地循環路線を大幅に見直し、学生のニーズに応えられるようなものにしようと考えている。内容についてはこの後詳しく説明する。

④市街地循環路線（右回り、左回り、南回り）の見直しについて

事務局が資料6-1、6-2、6-3により説明

会長：市立病院新設に伴い三友堂病院が移転するが、これまで三友堂病院を利用していた方のバス利用についてどのように考えているのか。

事務局：循環右回り左回りが1時間に1本の便となることで、現行のダイヤよりも両病院へ通院しやすくなる。南回りについても病院経由とする便を用意するので、これまでバスで三友堂病院へ通院できなかった方も通院しやすくなるような見直しとなっている。

委員：いつから運行開始と考えているか。

事務局：来年の4月から運行開始したいと考えている。

委員：南回り線に興譲館行のバスが追加されたが、市街地から興譲館へ向かう便は検討していないのか。

事務局：市街地から興譲館高校へ行くというニーズがあるのであれば、右回り左回りにもう1便早い時間の便を設け、駅で南回りに乗り換えて興譲館高校へ向かうようにするという検討もある。市街地に点在する生徒全てを拾うようなバス路線は難しいので、駅をターミナルにし乗り換えすることで対応させていただきたい。

委員：駅から通う子供にとっては便利になると思うが、市内の興譲館に通う子にとっても便利になれば良いと思う。特に冬季間が生徒の送迎で渋滞することも分かっているので、良いやり方があれば検討して欲しい。

事務局：ニーズを確認しながら検討していきたい。

委員：提案した案について興譲館の生徒や米短の学生の意見や考えを聞いたのか。

事務局：興譲館生については、現在山交バスが駅から運行しているものをベースに考えているので、授業に間に合うような時間で設定した。

大学生については、アンケートを行い時間や行きたい場所を把握し設定した。

委員：どれくらいの学生にアンケートをとったのか。

事務局：3, 500人程度を対象にアンケートを行い、400人程度の学生から回答を頂いた。

委員：南回りについて右回りの1方向のみになるが、アンケート結果で街中に行きたいという声があることは分かったが、一方で市外から通学する学生にとっては、例えば10便を利用した場合に18:32駅着で遅延を想定すると18:42の電車には乗れない。街中需要と下校時に駅へ向かう事のバランスはどのように考えたのか。

事務局：下校時については、講義終了後の時間と鉄道との接続に合わせたバス時刻を設定している。10便については、18:32着で18:42の奥羽本線に間に合うものと考えている。

1方向にしている理由としては分かりやすさを重視した結果である。これまで2方向であるために行きたい方向と逆方向に行ってしまったという苦情を頂戴することが多くあった。

今回の南回りの見直しに関しては、通学用、通院用といったように目的別にダイヤを設定している。

運行している中でダイヤの乱れによって鉄道との接続が合わなくなる場合は、調整を図っていきたいと考えている。

委員：基本的には定時性と分かりやすさが大事ということは理解できるので、案については賛成である。学生の声を反映していただいて感謝する。

委員：ムサシやイオンで買い物した人が帰る場合は駅で次の便を待つことになるのか。

事務局：一度駅に到着後に降車し再度乗車していただくこととなるが。追加で料金を払わずに乗車できるようにしたいと考えている。

会長：9便が駅到着後に10便まで待っている時間が40分程度あるが、駅で待っていないといけないのか。

事務局：そのとおりである。学生の講義時間に合わせているため次の便の出発を早めることは出来ない。

会長：御不便をおかけするが、駅のコワーキングスペース等もございますので御利用していただければと思う。

委員：南回りも右と左に分かれていれば利便性が高いとは思いますが、車両が1台しかないことと、運転手不足の問題があるため中々難しいところだ。提案内容にそった形で運行できるように本社とも調整を行っているので、利用者の利便性が向上するようになればと考えている。

会長：他に意見や質問はないようだが、事務局提案に賛成か。

委員からの反対はなし。

⑤報告 基本目標の達成状況について

事務局が資料7により説明

委員からの意見質問なし

(4) その他

委員：ラッピングバスについて、第1日曜日以外にはどのような管理となっているのか。また、イベントでの稼働はどの程度あったのか。

事務局：ラッピングバスについては通常の運行も行い更に5月から11月の第1日曜日の運行も行っている。

今年度は6月に前田慶次供養祭開催日が第1日曜日であったので通常の運行を行い、臨時便の運行も行った。

委員：公共交通に関する様々な問題があると思うが、交通弱者に関してどのような考えでいるのか。

事務局：大きく市街地と周辺部に分けて考えている。周辺部についてはのりあいタクシー等すでに運行している地域もあるが、どのような需要があってどのような交通モードが良いのか地域と協力しながら調査をし導入に向けて進めている。

市街地については循環バスで利便性の向上を図っていく考えだが、バスだけで賄えない部分についてもタクシー需要等調査しどのような対策が打てるのかを考えていきたい。

また、市内では吾妻町買い物タクシーのように地区主導で進めている公共交通もあって、町内で高齢者を支えていこうとする良い事例である。このような事例を周知することで、町内独自の取組等も進めていければ良いと考える。

(5) 閉会

以上